



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報



Sow the Seeds of Love



Bhichai Rattakul
RI President, 2002-03

慈愛の種を
播きましょう

2002-2003年度 国際ロータリーのテーマ

3月30日 「イースターカクタス」

花言葉 **復活の喜び**

シャコバサボテンに似ている

花は鮮やかなピンクや赤で華やか

第782回 平成15年 3月30日(日)

[本日のプログラム]

1. 点 鐘
2. ロータリーソング
「それでこそロタリー！」
3. 四つのテスト唱和
4. 食 事
5. 会長の時間
6. 幹事報告
7. 委員会報告
8. 点 鐘

【4RC合同観桜会】

次回予告

★ 4月 2日(水)
観桜会(宝塔山公園)

★ 4月 9日(水)
フォーラム
(ロタリー雑誌月間に
あたって)
4月のセレモニー
理事・役員会

佐土原ロータリークラブ

例会日 毎週水曜日 (12:30~13:30) 会長 宮原 建樹

例会場 石崎浜荘 ☎ 0985-73-1913 副会長 林 厚雄

事務局 宮崎郡佐土原町大字下那珂3887-17 幹事 中武 幹雄

☎ 880-0212

会計 佐藤 高元

TEL及びFAX 0985-73-7170

会報委員長 池田 仁志

第781回例会記録

(2003. 3. 19)

☆会長の時間

会長 宮原建樹君

皆さん今日は。

本日は第781回の例会です。

今日は15周年記念誌に掲載するための集合写真の撮影がありまして、少し時間を取ってしまいました。こうして正装に近い服装だと何となく気が引き締まります。

先(朝2日)に行われました、インティミーティングで講演された、第2620地区(静岡、山梨地区)のパストガバナー高橋氏より、国内、海外でのお話をまとめた「風流説法」と題した小冊子を頂きました。その中のNo.33に高橋パストガバナーが東西文化交流史研究のため、インド、パキスタン、アフガニスタンの仏跡を40数回、訪問されたらしく、IMの講演もこの時の話をされました。

色々な所で色々な人々と会われ、感じられたのだろうと思いますが、「慈愛の奉仕」のページにこの様なことが書かれていました。

“他人のいたみを思いやる心、これはどんな人でも、どんな所でも出来る。この心をもち、この心を他人に与えようと強調して歩いている。

バブルがはじけて日本人ははじめて、金や物だけの世界から、「こころ」の世界に目を向けて来た。角度を変えてみれば、金々と血走っていた日本人に、本来日本人が持っていた「よさ」、「暖かい思いやり」の心の世界に引き戻してくれ

たのが「バブルのはじけ」だったのではなかろうか。物には限りがあるが、心は無尽。この暖かな心をお互いに与え合えば、この世はもっともっと住みよい所になるに違いない… 私は馬鹿一つ覚えのように叫び続けている。” と思いやりの心をいつまでも持ち続けたい。 と書いてありました。

先程、集合写真を撮りましたが、何人か欠席されており、池田君に聞いてみますと写真を出していただくと、合成写真が出来るそうですので、そのように致したいと思います。

来週の例会(26日)は30日(日)の4RC合同観桜会と振替になります。

4月2日(水)は時間、場所を変更して、当クラブの観桜会を行います。例会変更が続きますので、お間違いのないようにお願い致します。又、親睦委員長から再度、時間等はお話して頂きます。

本日のプログラムは正岡文郁君の卓話になっております。時間が少なくなりましたが、よろしくお願ひ致します。

☆幹事報告

幹事 中武幹雄君

1. 例会変更通知

①3月24日(月)の例会は職場訪問のため、場所 宮崎空港事務所
航空管制塔
時間 12:00 ~ に変更

3月31日(月)の例会は観桜会のため、時間 18:30~
場所 ホテルプラザ宮崎に変更
宮崎南 R C

2. 次年度理事・役員について

会長 中武 幹雄
副会長 林 厚雄君
幹事 梶田與之助君
会計 岩切 正司君

4大奉仕

クラブ奉仕 柳田 光寛君
職業 奉仕 吉田康一郎君
社会 奉仕 鬼塚 圭司君
国際 奉仕 後藤 明夫君

他の委員会についてはこれから煮詰めて行きたいと思います。

余談 野口雨情 歌碑

【雨の知らせか霧島山に 雲がまた来てまたかかる】

先週の金曜日にお茶の仕入れの為、矢岳高原の方へ行きました折、高原の一角にあった歌碑です。お茶畑は周囲が山に囲まれ、素晴らしい眺望の所で、有機栽培によるお茶作りとかで、この環境ならそれも可能だと思われる所でした。

美味しいお茶です。良かったらご賞味下さい。

☆出席報告

副委員長 正岡文郁君

| | |
|----------|-----------------|
| 会員数 | 28名 |
| 例会出席者 | 21名 |
| 出席率 | 75% |
| メークアップ者数 | 2名 |
| 修正出席率 | 82% |
| 欠席者名 | 宮本、都司、村岡、近藤、水浦、 |

☆親睦委員会

委員長 梶田 與之助君

4RC合同観桜会について、再度お知らせ致します。

会費は¥4,000 (個人負担 ¥2,000 鎮)
マイクロバス出発時刻

町役場駐車場 10:30

佐土原地区公民館 10:40

雨天決行

出席者は17名です。よろしくお願ひ致します。

☆ロータリー財團

委員長 濱田 松太郎君

2004~2005年度 国際親善奨学生の募集が来ております。適当な方が居られたら、当方迄、お申込み下さい。



Happy Voice

誕生日祝い、有り難うございます。今年で56年間生きてこれました。これから的人生、残りの方が少なくなって来ましたが、何か目標を持って、楽しく生きたいと思います。
岩下 廣美

年月が経過するのは早いもので、結婚41周年になりました。今後共、夫婦仲良く過ごしたいと思っております。

梶田與之助
規子

誕生日祝い有り難う御座いました。

田村 清子



☆会員卓話

正岡文郁君

『接心(せっしん)とは』

久しぶりの卓話という訳ですが、先ず私が大光寺の住職という立場で皆様にお願いがあります。

一つは、宗教には既成宗教、新宗教、新々宗教等、実に沢山の数にのぼりますが、ニセ物の宗教には迷っていただきたくないのです。

本物とニセ物の分け方は簡単に申しますと、ここへ入信すると「お金が儲かります」「病気が直ります」などと言うのはニセ物です。賢明な皆様方にはくどい説明は不要と思います。今一つは現在寺の坊主というと葬式と法事にしか用が無いように思われている向きも有るようですが、本当はそれは第二義で、第一義は生きている人々の為に働くのが本来の姿であることを御理解いただきたいのです。

大光寺は臨済宗の寺ですので、禅の立場からお話をさせていただきます。大光寺の本山、妙心寺の現在の布教のテーマは「禅」、そして「自らを調べ生活(くり)を調べましょう」。サブテーマが「みんなで幸せになれるよう優しい言葉で語り合いましょう」となっています。端的にいいますと「己をしっかり知ろう」ということで、決して抹香くさいことではないのです。現在「禅」という言葉は英訳、仏訳しなくともそのまま世界中に通用します。それだけ現在は禅が求められているからです。例えばニューヨーク等では一般のサラリーマンが禅堂で寝起きして、昼間は会社へ、夜は坐禅を、という人が沢山おられます。それは己を知る為であります。

「自らを調べ、生活を調べる」にはどうしたら良いか?

「一日一度は静かに坐って身と呼吸と心を調べましょう」と云う生活信条があります。

過去の事はどうにもなりません。未来のことはわからない。大事なことは、今「即今只

今」といいます。今が大事。今私はどうしたら良いのか? 今私はこれで良いのか?を見極める事が大事であります。

私が禅堂で坐禅して朝から晩まで、晩から朝まで、馬鹿になれ馬鹿になれと叩かれるのはその「己を知る」ためであります。

以前、道場へ入門する頃のお話を致しました。そこで僧堂生活の大眼目は「接心」という坐禅の週間だから、今日は接心についてお話をしたいと思います。

接心は心を接取すること、即ち精神をひとつの対象=公案に一途に集中して乱さない意味ですが一定の期間中、昼夜不断で坐禅することを言います。

制中はこの接心と名づける「参禅弁道強調週間」の連続となります。雨安居(うあんご)に入ると五月に入制、六月に半夏、七月に夏末(げまつ)の大接心、雪安居(せつあんご)には十一月入制、十二月臘八(ろはつ)一月に夏末の大接心という風に年間六回、それぞれ一週間にわたって設けられ、さらにこの大接心の前後には地取り、練返し(ねりかえし)と称する普通接心が続いて絶え間がないのです。接心中はよりいっそう厳格な規則のもとに全てが参禅入室に集中されます。先ず坐禅の時間が長くなり、独参の回数は増します。外部との交渉は絶たれ、起床は極度に早く、夜は遅くなるので睡眠は極めて僅かとなります。ですからこの間の身心の消耗は実におびただしいものとなります。

皆様も己れをしっかり知る為に大光寺にお出でになって坐禅をされませんか?。

毎月第2、第4 土曜日の午後7時から定期の坐禅会を催しております。

どうぞ御遠慮なくお出で下さい。歓迎致します。

又、機会がありましたら、禅堂のことについてお話をさせていただくこととして、今日はこの辺で。

どうぞしっかり御自身を知っていただきますように。